

(4) (株)セルフウイング「Mother Venture Pavilion e TOWN」

<p>教育の対象者 小学校3年生～中学・高校生</p> <p>教育の実施者 マザー牧場</p> <p>教育プログラム実施のコーディネーター (株)セルフウイング</p> <p>教育プログラムの企画者 (株)セルフウイング</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯 1998年よりマザー牧場で「早稲田ベンチャーキッズ[®](早稲田V-Kids[™])キャンプ」が開催されてきた。 起業家教育を学校の授業で実施していくには、教師が新たに起業家教育を学び、教材をつくり(あるいは活用して)指導しなければならない、負担が大きすぎるという意見があった。 米国には、起業家教育のノウハウを有した講師が教育プログラムを提供する常設施設があり、教師はバスで生徒を連れてそこに来れば良いことをふまえ、(株)セルフウイングは、日本でも、教師の負担を軽減するため、同様の施設を建設できないかと考えた。 一方、マザー牧場は、遠足などの需要が減少し、新たな市場開拓が求められていた中で社会科見学などの新しいニーズを開拓できることから、(株)セルフウイングの考えに賛同した。 施設内容は(株)セルフウイングが企画し、建設はマザー牧場が実施し、2001年10月27日に開設した。</p> <p>教育プログラムの学習指導要領における位置づけ 「総合的な学習の時間」で体験型カリキュラムの増加が想定されており、本プログラムの活用が期待されている。</p> <p>教育プログラムの目標 「生きる力」を得るといふ新しい選択肢の提供 挑戦する心、違いを認める柔軟な心、人間・動物・自然に優しい心の涵養</p> <p>教育プログラムの目的 雄大な自然を背景に、子ども達自身の独創性や行動力、自立心、優しさをのばし、様々な潜在能力を引き出すこと。(自然体験と起業体験を同時に経験) 子どもの個性を伸ばすと同時に、自信を持たせる。 子ども達のチームワークの強化、学校外の人とのコミュニケーションを体験。</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・事前申し込みにより、休暇期間(冬休み、春休み、夏休み)土・日・祝を除くウィークデー実施。 ・2001年10月27日のオープニングセレモニーでは千葉国際高校が販売活動のデモンストレーションを実施した。</p> <p>実施場所 ・マザー牧場(千葉県富津市)</p> <p>対象者の人数規模 ・定員100名。 ・1クラス50名程度を想定。</p>

<p>プログラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「e TOWN」はマザー牧場内に設けられた、起業家教育の実体験施設である。 ・パビリオン内に学校独自の町を形成し、グループごとに様々な職種の店舗、事務所を開設し、マザー牧場にきた客を対象に商品を販売（サービスを提供）する。 ・「お店づくり」のプログラム例は以下の通りである。 事前座学（教室）：起業家教育の概要、基本的なビジネスの概要、業種や職種について、「e TOWN」について（計4回） 予め学校で座学を実施する。 「e TOWN」で当日の起業家教育体験：教室授業の実体験として店舗経営 事後座学：フォローアップを実施し、ビジネス理論の指導を行う。（約2回） ・実収では、9店舗が入居可能な広さ 238 m²の専用施設内で、自由に店舗を設置する。当日は、牧場の専任トレーナーが商品展示や店の飾り付けについて助言する。施設は牧場内の入口からすぐの広場に面しており、来場者も集まりやすい立地となっているため、一定の来客数が見込める。 ・他のグループはもとより、牧場内の売店もライバルとなる。 <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アントレプレナーシップ」、「コミュニケーション」、「ビジネスの基礎」、「安全管理」を柱とした専門的なトレーニングを受講した専任トレーナー
<p>教育プログラム実施にかかる事業費</p> <p>1人あたり教材費 5,040 円、実習費 3,500 円（マザー牧場の入場料・施設使用料込） この他商材費が約 500～1,000 円</p>
<p>その他</p> <p>当プログラムの名称に用いられている「e」は「Entrepreneur（起業家）」、「Experience（経験）」、「Education（教育）」、「Enjoy（楽しむ）」、「Economy（経済）」、「Entertainment（もてなし）」、「Ecology（環境）」という言葉の持つ意味が含まれており、トレーナーの川野辺氏が名付けたものである。</p>
<p>照会先</p> <p>(株)セルフウイング 代表取締役 平井 由紀子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 66-2-705 ・TEL:03-5292-0738 Fax:03-5292-2465

(資料)(株)セルフウイングヒアリング

マザー牧場「Mother Venture Pavilion e TOWN」開設記念式典視察、マザー牧場「Mother Venture Pavilion e TOWN」パンフレット

「児童・生徒に起業教育 マザー牧場 敷地内で模擬店」『日経産業新聞』（2001年11月1日）、
「マザー牧場 生徒に起業家教育」『日本経済新聞』（2001年10月25日）、「独立心と創意工夫」『読売新聞』（2001年10月22日）、『悠』（2001年12月号）